

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成 25 年 7 月 25 日 (2013.7.25)

【公表番号】特表 2012-533040 (P2012-533040A)
 【公表日】平成 24 年 12 月 20 日 (2012.12.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-054
 【出願番号】特願 2012-520642 (P2012-520642)
 【国際特許分類】

F 1 6 K 41/04 (2006.01)

F 1 6 K 3/24 (2006.01)

【F I】

F 1 6 K 41/04

F 1 6 K 3/24 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 25 年 6 月 5 日 (2013.6.5)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

荷重を弁パッキンに与えるための装置であって、

荷重をシールアセンブリに提供するように、弁パッキンフランジとストッパフランジとの間に配設される付勢要素を有する、荷重アセンブリであって、前記パッキンフランジは、前記シールに印加される前記荷重を調整するように、前記ストッパフランジに対して調整可能である、荷重アセンブリと、

前記パッキンフランジと前記ストッパフランジとの間の第 1 の所定の距離を提供するように、前記パッキンフランジの第 1 の開口または前記ストッパフランジの第 2 の開口に連結される、第 1 のガイド部材であって、前記第 1 のガイド部材は、前記パッキンフランジおよび前記ストッパフランジが前記第 1 のガイド部材によって提供される前記第 1 の所定の距離だけ離間された時に、前記荷重アセンブリによって提供される第 1 の所定の荷重の指示を提供する、第 1 のガイド部材と、

を備える、装置。

【請求項 2】

前記パッキンフランジと前記ストッパフランジとの間の第 2 の所定の距離を提供するように、前記パッキンフランジの前記第 1 の開口または前記ストッパフランジの前記第 2 の開口の他方に連結される、第 2 のガイド部材をさらに備え、前記第 2 のガイド部材は、前記パッキンフランジおよび前記ストッパフランジが前記第 2 のガイド部材によって提供される前記第 2 の所定の距離だけ離間された時に、前記荷重アセンブリによって提供される第 2 の所定の荷重の指示を提供する、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記第 1 のガイド部材は、前記荷重アセンブリが、前記第 1 の所定の荷重よりも大きい荷重を前記シールに印加するのを機械的に止めるためのものである、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記第 1 のガイド部材は、前記パッキンフランジの前記第 1 の開口内、または前記ストッパフランジの前記第 2 の開口内に配設される、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 5】

前記第 2 のガイド部材は、前記荷重アセンブリが、前記第 2 の所定の荷重よりも大きい荷重を前記シールアセンブリに印加するのを機械的に止めるためのものである、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 6】

前記第 2 のガイド部材は、前記パッキンフランジの前記第 1 の開口内、または前記ストップフランジの前記第 2 の開口内に配設される、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 7】

前記第 1 のガイド部材は、前記第 2 のガイド部材と同軸に整合させられる、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 8】

前記第 1 の所定の荷重は、前記シールアセンブリに提供される公称パッキン応力を備え、前記第 2 の所定の荷重は、前記シールアセンブリに提供される最大パッキン応力を備える、請求項 2 に記載の装置。

【請求項 9】

前記ガイド部材は、締結具またはピンを備える、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 10】

前記ピンは、前記第 1 の所定の荷重の指示を提供するように、第 1 の段付き表面を含む、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 11】

前記ピンは、前記第 2 の所定の荷重の指示を提供するように、第 2 の段付き表面を含む、請求項 10 に記載の装置。

【請求項 12】

前記荷重アセンブリが、最大の所定の荷重よりも大きい荷重を前記シールアセンブリに印加するのを機械的に止めるように、前記パッキンフランジに着脱可能に取り付けられ、かつ前記ピンと同軸に整合させられる、ストップをさらに備える、請求項 11 に記載の装置。

【請求項 13】

荷重を弁パッキンに与えるための方法であって、

付勢アセンブリの自由状態に少なくともほぼ対応する位置に、パッキンフランジナットを調整することと、

第 1 のゲージ部材を第 1 のフランジに連結することと、

前記第 1 のゲージ部材の第 1 の表面と、前記第 1 のフランジに対向する基準表面との間の間隙を第 1 の所定の距離に調整することと、

前記第 1 のゲージ部材の前記第 1 の表面が前記基準表面と実質的に整合するように、そして前記第 1 のゲージ部材が前記基準表面と実質的に整合した時に、荷重アセンブリに、第 1 の所定のパッキン応力を前記弁パッキンに提供させるように、前記パッキンフランジナットを締めることと、

を含む、方法。

【請求項 14】

前記第 1 のフランジから前記第 1 のゲージ部材を除去することをさらに含む、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

第 2 のゲージ部材の第 2 の表面と前記基準表面との間の間隙を調整することをさらに含む、前記第 2 のゲージ部材は、前記第 2 のゲージ部材が前記基準表面と実質的に整合した時に、前記弁パッキンに提供される第 2 の所定のパッキン応力の指示を提供する、請求項 14 に記載の方法。

【請求項 16】

前記第 1 のゲージ部材は、前記荷重アセンブリが前記第 1 の所定のパッキン応力を前記弁パッキンに提供した時に、前記第 1 のフランジに対向する第 2 のフランジに係合する、

請求項 1 3 に記載の方法。

【請求項 1 7】

前記基準表面は、前記第 1 のフランジに対向する第 2 のフランジの表面、または第 2 のゲージ部材の第 2 の表面である、請求項 1 3 に記載の方法。

【請求項 1 8】

前記基準表面は、前記第 2 のフランジに連結され、かつ第 1 のゲージと同軸に整合させられる、第 2 のゲージ部材を備える、請求項 1 7 に記載の方法。